

公・民・学 連携まちづくり

～アーバンデザインセンターの組成に向けて～

KURE

目次

- 1 アーバンデザインセンターとは
- 2 UDC設立に向けての経緯
- 3 KUREスマートシティコンソーシアムから
(仮称)アーバンデザインセンターくれの組成へ
- 4 (仮称)アーバンデザインセンターくれの主な取組内容
- 5 これまでの取組
- 6 今後の予定(案)
- 7 ご寄付をいただいた皆様(企業版ふるさと納税)

2025年4月
呉市呉駅周辺事業推進室
0823-25-5692
kureeki@city.kure.lg.jp

1 アーバンデザインセンターとは

【出典：UDCイニシアチブHP】

■アーバンデザインセンターとは

UDCは、アーバンデザインセンター（Urban Design Center）の略称で、2006年11月の柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）創設時に構想された、課題解決型＝未来創造型まちづくりのための公・民・学連携のプラットフォーム。

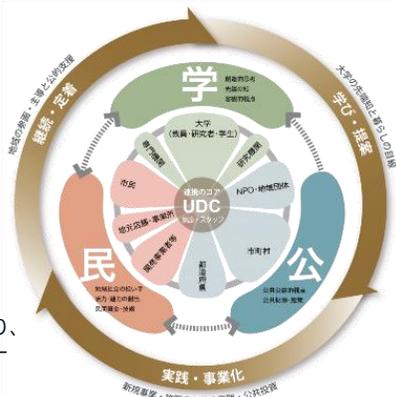
行政都市計画や市民まちづくりの枠組みを超え、地域に係る各主体が連携し、都市デザインの専門家が客観的立場から携わる新たな形のまちづくり組織や拠点

■UDCの目指す公民学連携スキーム

地域社会に必要な公的サービスを担う「公共」、市民活動や経済活動を通じて地域の魅力と活力の向上を担う「民間」、専門知識や技術を基に先進的な活動を担う「大学」が日常的・多面的に連携し、まちの未来を描き実践していくエンジンとなる。

■UDCアジェンダ

- ①公・民・学連携の拠点となること
- ②明確な目標と戦略を打立て実行すること
- ③常に具体のフィールドで活動すること
- ④都市空間のデザインを担う専門家が主導すること
- ⑤新しいアイデアに挑戦し続けること
- ⑥一人一人が活動をエンジョイすること
- ⑦最新の情報を広く公開し、共有すること
- ⑧UDCネットワークを全国へそして世界へ



※ 「アーバンデザインセンター」は登録商標であり、名称・呼称の使用にはアーバンデザインセンターネットワークへの加盟申請が必要となります。

2 UDC設立に向けての経緯

呉市では、市の玄関口であるJR呉駅周辺地域を再生し、交通まちづくりとスマートシティの拠点形成を目指す「呉駅周辺地域総合開発」に取り組んでいます。

また、整備完了後も、当地域を起点に、まちの課題を解決する先駆的な取組を継続的に展開するため、公・民・学の多様な主体が連携するプラットフォームとして、UDCの設立を目指しています。



H30. 5～ 都市交通や再開発の専門家から成る「呉駅周辺地域総合開発に関する懇談会」開催

H31. 3 「呉駅周辺地域総合開発に関する提言書」（同懇談会）

- ・ 呉駅は鉄道駅だけでなく、バスや港の総合交通拠点に、そしてまちづくりの核にしていくこと
- ・ 駅前空間のマネジメントや自動運転を見据えた交通社会実験などの新たな取り組みを推進する組織としてアーバンデザインセンターの設置

等の10の提言

R元. 7～ 「呉駅周辺地域総合開発基本計画検討会」開催

R 2. 4 「呉駅周辺地域総合開発基本計画」策定（呉市）

■呉駅周辺地域総合開発基本計画

～交通まちづくりとスマートシティの発信拠点の形成～

- ビジョン1** 交通まちづくりの起点となる“次世代型”総合交通拠点の形成
- ビジョン2** 市民と来訪者が憩い、賑わい、快適に移動できる駅前空間の創出
- ビジョン3** 災害時にも頼りになる防災対応型交通拠点の形成
- ビジョン4** 歩きたくなる・住みたくなる
「心地よく過ごせるまちなか」の形成
- ビジョン5** 「公・民・学」一体で課題を解決し続けるまちづくり

〔公・民・学連携の推進のためアーバンデザインセンターを組成していくという方向性を計画に盛り込み（詳細3ページ）〕



3 KUREスマートシティコンソーシアムから (仮称)アーバンデザインセンターくれの組成へ

○ 現在、呉市では、アーバンデザインセンターの組成を念頭に、その前身組織として位置づけている「KUREスマートシティコンソーシアム」を中心に、公・民・学連携まちづくりに向けた多様な取組を展開しています。

【KUREスマートシティコンソーシアム】

令和元年の国土交通省スマートシティモデル事業への応募を契機に組成活動指針となる「スマートシティ実行計画」を令和3年4月に策定



4 (仮称)アーバンデザインセンターくれの主な取組内容

【出典：呉駅周辺地域総合開発基本計画】

ビジョン5 「公・民・学」一体で課題を解決し続けるまちづくり

アーバンデザインセンターを設立し、「公・民・学」の連携により、中長期的にまちのビジョンを育て、更新し、提案・実践していく。

ターゲットとなる課題

【市全域】

- ◆ 持続可能で利便性の高い交通ネットワークの形成
- ◆ 中心市街地の賑わいと交流の促進

【呉駅周辺地域】

- ◆ 広場や市民の活動拠点が無い

① アーバンデザインセンターの設立

現在の「KUREスマートシティコンソーシアム」における活動を母体に、「公・民・学」が連携してまちづくりの課題を解決していく組織として、アーバンデザインセンターを設立します。

② 市民参加による継続的なまちづくりの推進

アーバンデザインセンターでは、市民が集う広場空間のあり方やマネジメント、更には、自動運転を見据えた交通社会実験などの新たな取組について、市民や民間企業の意見を取り入れながら、継続的に考え、取り組んでいきます。

【想定されるアーバンデザインセンターの活動の例】

多用途に使える魅力的な広場空間の創造

～ 公共空間の有効活用に向けた社会実験 ～



時代を変革する先駆的サービスの創造

～ 交通まちづくりとスマートシティの実現に向けた社会実験 ～



公・民・学の連携による新たな価値の創造

～ 呉市版「リビングラボ」の実施 ～



(仮称)アーバンデザインセンターくれでは、交通まちづくりの起点と防災対応型総合交通拠点の形成に向けて、以下のテーマを中心に、社会実験やワークショップ等を通じ、社会課題の解決に取り組んでいくことを想定しています。

呉駅周辺地域のエリアデザイン

新たに整備する呉駅前2階デッキなどの公共空間を有効活用した賑わいの創出



虎ノ門「新虎マーケット」

次世代モビリティ導入に向けた社会実験

次世代モビリティなど先進先端技術導入に係る社会実験の実施や、その後の普及展開への取組



平成30年7月豪雨災害の記憶継承

平成30年7月豪雨災害の教訓と防災まちづくりの観点から継承していくためサインージ等により情報発信



5 これまでの取組

※ 「KUREスマートシティコンソーシアム」と連携して実施しています。

No.1	次世代モビリティ導入に向けた交通社会実験	(R1)	No.16	ユース世代の居場所実証実験	(R6)
No.2	次世代モビリティ導入に向けた交通社会実験	(R2)	No.17	KUREスマートシティコンソーシアム運営会議	(R6)
No.3	グリーンスローモビリティ実証実験(中央地区)	(R2)	No.18	データプラットフォームくれ・くれみらい意見交換会	(R6)
No.4	グリーンスローモビリティ実証実験(天応地区)	(R3)	No.19	呉三津田高校 社会探求プロジェクト学習	(R6)
No.5	データプラットフォームくれ	(R3)	No.20	2階デッキでの賑わい創出に向けた対話型ニーズ調査	(R6)
No.6	次世代モビリティ導入に向けた交通社会実験	(R4)	No.21	次世代モビリティ導入に向けた交通社会実験	(R6)
No.7	次世代モビリティ導入に向けた交通社会実験	(R5)	No.22	自動運転モニタリングルーム	(R6)
No.8	デッキでの賑わい創出に向けたワークショップ	(R5)	No.23	カクレクレシ デジタルスタンプラリー	(R6)
No.9	呉高专×(株)マクニカ 先端技術勉強会	(R5)	No.24	広島国際大学フィールドワーク	(R6)
No.10	パーソナルモビリティ体験	(R5)	No.25	人とロボットが創造する未来	(R6)
No.11	呉市観光・地域振興アプリ「マイクレ」	(R5)	No.26	株式会社ホクタテ(富山市)視察	(R6)
No.12	アーバンデザインセンター準備室	(R6)	No.27	女性の創業支援連続セミナー「ちょいビジ」最終発表	(R6)
No.13	平成30年7月豪雨災害 記憶継承パネル展示	(R6)	No.28	キッチンカーと公共空間を活用した実証実験	(R6)
No.14	スマートロックオープンテスト	(R6)	No.29		
No.15	呉高专×(株)マクニカ 先端技術勉強会	(R6)	No.30		

No.1 次世代モビリティ導入に向けた 交通社会実験 (R1)



概要

- 取組：燃料電池バス「SORA」の実証実験
- 目的：次世代モビリティ導入への機運醸成、非常電源機能の体験
- 実施日：令和元年11月30日、12月1日・7日・8日
- 乗車人数：800人（4日間合計）
- 運行時間：11時～15時
- 便数：4便/日
- 運賃：無料

ルート



写真



トヨタ自動車製「SORA」
れんがどおり通行の様子



非常電源PRイベント

No.2 次世代モビリティ導入に向けた 交通社会実験 (R2)



概要

- 取組：自動運転バスの実証実験
(車両：先進モビリティ所有「ポンチョ」自動運転改造車)
- 目的：自動運転車両が市街地走行するための課題抽出、
一般交通への影響検証
- 実施日：令和3年1月22日～24日
- 乗車人数：260人（3日間合計）
- 運行時間：10時～16時半
- 便数：10便/日
- 運賃：無料

ルート



写真



今西通り自動走行中



自動走行中のドライバー

No.3 グリーンスローモビリティ 実証実験（中央地区）（R2）

概要 (広島大学・呉工業高等専門学校が実施し、市が後援したものです。)

- 取組： グリーンスローモビリティの実証実験
- 目的： 清水地区、和庄地区の斜面地と本通り・呉駅間を走行させ、グリスロなどの新たな移動手段の活用可能性を検証
- 実施日： 令和2年11月28日～12月11日（2週間）
- 乗車人数： 191人
- 運行時間： 8時～16時半
- 便数： 5便/日
- 運賃： 無料

ルート



写真



斜面地の走行状況



れんがどおりの走行状況

No.4 グリーンスローモビリティ 実証実験（天応地区）（R3）

概要 (広島大学・呉工業高等専門学校が実施し、市が後援したものです。)

- 取組： グリーンスローモビリティの実証実験
- 目的： 新たなモビリティによる災害時を想定した交通結節点機能の導入、現地情報の受発信を担うオペレーションセンター機能のあり方を検証
- 実施日： 令和3年10月6日～10月15日（10日間）
- 乗車人数： 284人
- 運行時間： 9時～16時半
- 便数： 5便～8便
- 運賃： 無料

ルート



写真



狭い道路の走行状況



オペレーションセンター



- 呉市では、新たなサービス等の創出や市民生活の質の向上につながるようなデータの収集・蓄積・分析・可視化ができる呉市版データプラットフォームを構築（令和4年3月）
- 呉市のオリジナルデータの拡充やユースケースの発掘など、更なる活用を推進中

公開データ

(R6.7月現在)

■都市基盤	
ライフライン	電力需要、電灯需要、都市ガス消費量、水道施設能力、用途別使用水量
交通・通信	くれまちWi-Fi利用者データ、自動運転車・交通社会実験データ、いきいきバスの利用データ、JR西日本市内駅乗車人員、呉市域バス運送状況、呉港入港船舶数、呉港船舶乗降人員、Hiroshima Free Wi-fi設置箇所
土木・建築	市営・県営住宅数、市営・県営住宅申し込み・入居状況、新設住宅着工数、道路概況、道路舗装状況、公園概況
■文化・スポーツ	
文化	文化財一覧、図書館貸出利用データ、図書館資料利用統計
■行政経営・その他	
その他	面積、有租地面積
■産業	
商工・労働	品目別出荷額、労働争議、一般職業紹介状況、産業別新規求人状況、新規卒業者職業紹介状況、日雇職業紹介状況、日雇雇用保険給付状況
観光	大和ミュージアム来館者数、豊町まち歩きマップ、人流/通行・滞在
■福祉保健	
介護保険	介護要因原疾患上位10位/介護度別・地区別・年齢階層別、介護老人保健施設一覧、介護老人福祉施設一覧、介護医療院施設一覧
社会福祉	興行場・公衆浴場・旅館・理容所・美容所・クリーニング所数
国民健康保険	ジェネリック医薬品の使用状況、診療報酬明細書集計
保健衛生	病床数、医療施設従事者数
■子育て・教育	
教育	幼稚園の概況、小学校・中学校・高校・大学・短期大学の概況
■市民生活・防災	
人口	住民基本台帳登録数/人口・世帯数、人口異動、外国人/人口・世帯数、地区別人口推移・人口ピラミッド
防犯・防災	救急活動状況、避難所一覧、AED設置場所、呉市ライブカメラ
■環境	
気象	環境センサデータ、雨量、河川水位、潮位、観測所の情報
生活環境	ごみの収集量

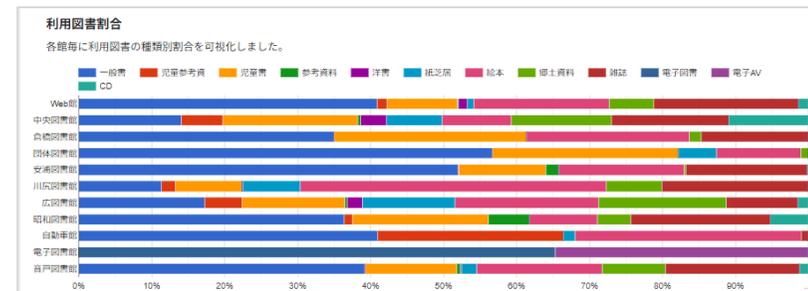
(行政改革デジタル推進第2課 所管)

ユースケース例

①大和ミュージアム来館者数 × 天気 × イベントの可視化



②図書館貸し出しデータの可視化



③いきいきパスデータの可視化



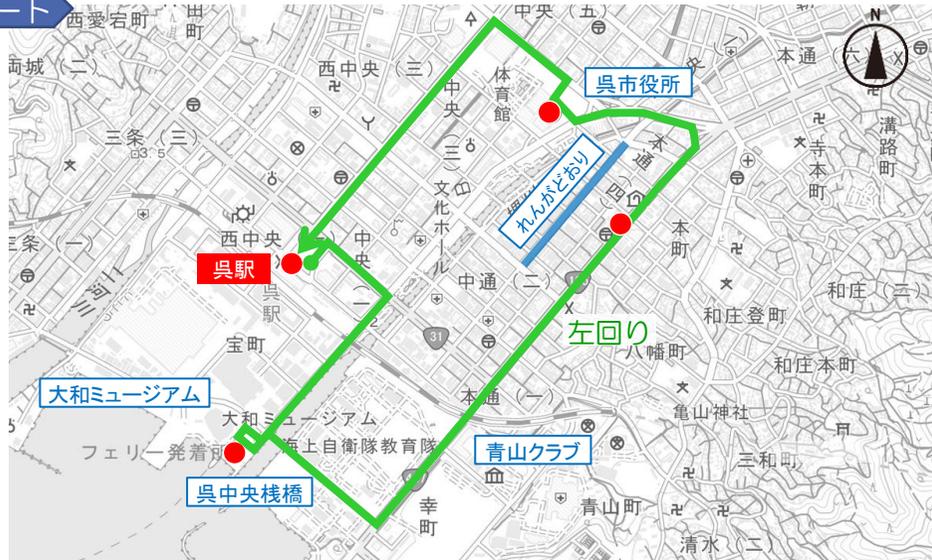
No.6 次世代モビリティ導入に向けた 交通社会実験 (R4)



概要

- 取組：自動運転バスの実証実験
(車両：先進モビリティ所有「BYD J6」自動運転改造車)
- 目的：自動運行補助施設(磁気マーカ)、交差点での右折支援、バス停出発支援の効果検証
- 実施日：令和4年12月10日～13日(試乗は10日・11日)
- 乗車人数：140人(2日間合計)
- 運行時間：10時～16時半
- 便数：7便/日
- 運賃：無料

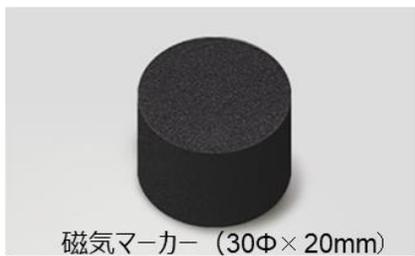
ルート



写真



磁気マーカー設置区間走行中



磁気マーカー (30Φ×20mm)

No.7 次世代モビリティ導入に向けた 交通社会実験 (R5)



概要

- 取組：自動運転シャトルバスの実証実験
(車両：NAVYA ALMA)
- 目的：歩車混在空間(れんがどおり)における自動運転車両の走行及び道路インフラからの歩行者への車両接近情報提供の検証
- 実施日：令和6年1月18日(木)～21日(日) (4日間)
- 乗車人数：192人(4日間合計)
- 運行時間：11時～16時
- 便数：6便/日
- 運賃：無料

ルート



写真



れんがどおり走行中



スマート道路磁

No.8 テッキでの賑わい創出に向けたワークショップ (R5)



概要

- 取組：呉駅前空間ビジョン2023：みんなで語る呉駅前デッキの未来像（パブリックセッション）
 - 目的：「国道31号呉駅交通ターミナル整備」に向けて、呉らしい・賑わいが創出できるデッキを考える
 - 実施日：令和5年8月5日（土）13時～17時
 - 登壇者：呉工業高等専門学校 神田教授
広島大学大学院 塚井准教授
呉工業高等専門学校の学生、市立呉高等学校の生徒、市内事業主 計8人
- ※プレアンケート：260人、プレインタビュー：67人

検討項目

<p>① Wi-Fi・充電設備・災害時通信</p> <p>今や生活に欠かせないWi-Fi設備と充電設備。災害時の安否確認にも</p>	<p>② サイネージ</p> <p>平時は交通情報や観光情報を、災害時は災害情報を発信できるサイネージ</p>	<p>③ 清潔感やデザイン性</p> <p>モチベーションを下げず、清潔感やデザイン性、風量・音の調節</p>	<p>④ ユース世代の学習・交流スペース</p> <p>賑わいたくてもお小遣いが...そんなユース世代の懸念。学習・交流スペース</p>	<p>⑤ イス・テーブル</p> <p>人流を滞らせず誰もがほっとできるイスやテーブル</p>
<p>⑥ 大型エレベーター（キチンカ用）</p> <p>キッチンカーや災害時の資機材。将来的には次世代型エレベーター。運送経路、大型エレベーター</p>	<p>⑦ 防災拠点機能</p> <p>平時には賑わい拠点、災害時には防災拠点。1階の駅のような防災機能</p>	<p>呉駅交通ターミナル2階デッキ 1.5の視点</p> <p>呉駅交通ターミナル2階デッキでの賑わい創出に向けたワークショップ 題材</p>		<p>⑧ イベントスペース</p> <p>普段はベンチや待合スペースとして使う柔軟性を備えたコンパクトなイベントスペース</p>
<p>⑨ 電気・上下水・ガス</p> <p>平時には賑わいを、災害時には帰宅困難者を支える電気・上下水・ガス等インフラ設備</p>	<p>⑩ 監視カメラ</p> <p>利用者の安全・安心をまもり、今後のAI技術の進展にも貢献する監視カメラ</p>	<p>⑪ 防災・避難スペース</p> <p>雨や日差しから利用者を守る大きな屋根</p>	<p>⑫ 緑地</p> <p>暑やど機能性を兼ね備えた緑地の配置</p>	
<p>⑬ キーワード「呉らしさ」</p> <p>地域版バスらしいコンテンツでマーケットが開催できるスペース</p>	<p>⑭ シェアキッチン</p> <p>地元飲食店のサテライト、若者のチャレンジの場にもシェアキッチン</p>	<p>⑮ 屋根</p> <p>雨や日差しから利用者を守る大きな屋根</p>	<p>⑯ 緑地</p> <p>暑やど機能性を兼ね備えた緑地の配置</p>	

写真



街頭インタビュー



パネルディスカッション

No.9 呉高专×(株)マクニカ 先端技術勉強会 (R5)

概要

- 取組：呉工業高等専門学校 × (株)マクニカ先端技術勉強会
- 目的：学識と民間が連携し、世界視点での最新技術の動向を学ぶとともに、最新技術の活用方法等を検討することで、スマートシティの推進を図る
- 実施日：令和6年1月10日（水）
- 参加者：呉工業高等専門学校 3学年 160人
呉市職員 23人

内容

- マクニカが描くビジョン
 - 世界の情勢、日本の動向そして、呉市の目指すべき姿
 - 最先端テクノロジーの取り入れ
 - マクニカのケイパビリティ
- 最先端のテクノロジー
 - 自動運転EVバスの技術紹介
- 呉工業高等専門学校の学生と主催者側のディスカッション

マクニカが描くビジョン
～2030年サステナブルな社会の実現に向けて～

macnica

株式会社マクニカ
資料ソリューション推進部
資料 専任

写真



勉強会の様子

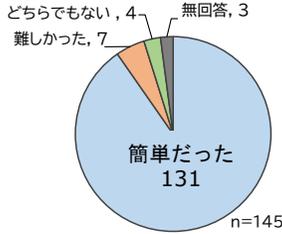
No. 10 パーソナルモビリティ体験 (R5)

概要

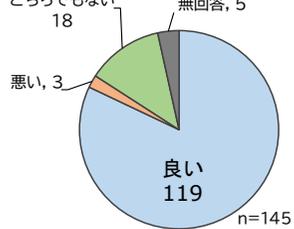
- 取組：トヨタ C+walkの試乗体験会
- 目的：呉駅交通ターミナルの2階デッキ上での活用が想定されるパーソナルモビリティに対する機運醸成
- 実施日：令和6年1月19日（金）～21日（日）
（交通社会実験時に実施）
- 参加者：153人

アンケート結果

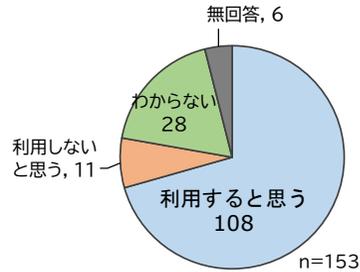
1 操作のしやすさ



2 乗り心地



3 旅行やレジャーに出かけた先にC+walkなどの小型モビリティのレンタルサービスがあった場合、利用しますか



写真



体験会の様子

No. 11 呉市観光・地域振興アプリ「マイクレ」 (R5)

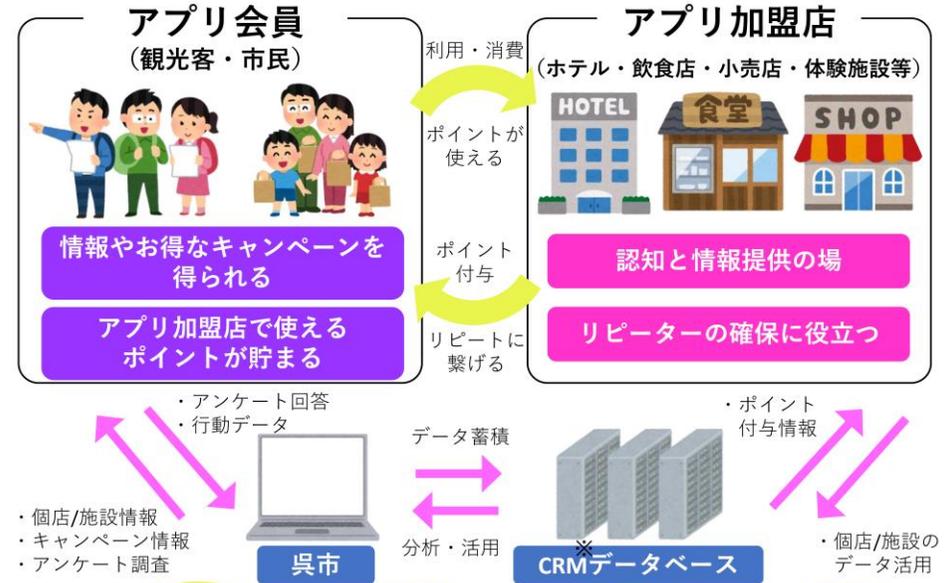


概要

(観光振興課 所管)

- 取組：観光・地域振興アプリの導入
- 目的：会員に地域の観光情報の提供や買い物・体験ごとにポイントを付与し、会員の行動履歴、消費履歴等をデータ化することで、加盟店がデータに基づいたサービスや商品開発を行う
- 開始：令和5年10月10日（火）

内容



メリット

ポイント機能
スタンプラリー機能を
活かした
キャンペーンの実施
地域全体での
誘客施策への参加

個店/施設の
プロモーション
のサポート
アプリ内に
個別ページを用意
メルマガの
配信も可能

顧客の
データベース
活用
個店/施設ごとの
データベースで
様々な分析と
戦略策定が可能

呉市の
バックアップ
地域に事務局
があるので
不明点は直接
聞くことが可能

※CRMとは、Customer Relationship Managementの略で、日本語では「顧客関係管理」という。

※ 令和5年度の交通社会実験では、MaaSアプリをイメージし、マイクレアプリを使って試乗予約を実施。

No. 12 アーバンデザインセンター準備室 (R6)



概要

- 取組：アーバンデザインセンター準備室の開設
- 目的：UDCの組成及びその活動拠点の整備までの間、UDCの前身組織KUREスマートシティコンソーシアムを始めとする公・民・学の連携による社会実験等の場として活用する
- 開設日：令和6年5月27日（金）
- 場所：呉市西中央1丁目3番31号 呉駅西中央ビル1階・2階

内容

本施設は、公・民・学連携の一環として、呉駅周辺地域総合開発の実施事業者である「くれみらい」グループが、未活用の市有財産を無償でリノベーションすることにより整備

スマートロックやAIカメラなど新たな取組に活用できる工夫が随所に施されたトライ&エラーの場「使いながら成長し続ける実験空間」

- 会議室利用もできる2階スペース
- 実験用Wi-Fi
- 空間検知センサー
- 離れた場所からコンテンツを操作できる遠隔操作式デジタルサイネージ
- そごう呉店跡地に整備される複合施設にも導入予定のAIカメラ
- 道行く人に情報を発信するガラス面QRコード
- ギャラリーとしても活用できるピクチャーレールと可動式のスポットライト
- 呉市観光アプリ「マイクレ」の会員QRコードで解錠できるスマートロック

No. 13 平成30年7月豪雨災害 記憶継承パネル展示 (R6)

概要

- 取組：パネル展示
- 目的：平成30年7月豪雨災害の経験や記憶を風化させることなく、次世代へ継承するとともに市民の防災意識を向上させる
- 実施期間：令和6年5月27日（月）～7月23日（火）

内容



写真



展示の様子

No.14 スマートロックオープンテスト (R6)

概要

- 取組 組：呉市観光アプリ「マイクレ」の会員QRコードで解錠できるスマートロックによるUDC準備室の入退場
- 目的 的：UDC準備室の周知を図るとともに、初見である利用者の皆様のスマートロックへの受容性を検証し、利用案内等の改善に役立てる
- 実施期間：令和6年5月27日(月)～6月7日(金)
- モニター：54人

内容

KUREスマートシティコンソーシアム

アーバンデザインセンター準備室 にはどうやって入るの？

※ 当面は、社会実験の実施時のみ開放します。

あらかじめ マイクレアプリへ 登録しておいてください

1 「ご当地ナビ」アプリをダウンロード 	2 「5039」を入力 	3 必要事項を入力 お名前や連絡先などの簡単な情報入力です	4 マイクレ会員証を取得！！
-------------------------	-----------------	----------------------------------	--------------------

～前月にマイクレアプリに登録していただき翌月から利用可能となります～

アーバンデザインセンター準備室のドアの前まで来たら・・・

1 まずマイクレアプリを開きます 	2 ホーム画面から「会員証」をタップ 	3 「QRコード提示」をタップ 	4 QRコードをかざして入館
----------------------	------------------------	---------------------	--------------------

実験結果

- 夕方以降の高校生の利用ニーズが高いことから、当面の取組としては、ユース世代の居場所づくりプレ実験と連携した各種実験の可能性が考えられる。

No.15 呉高专×(株)マクニカ 最新技術勉強会 (R6)



概要

- 取組 組：呉工業高等専門学校 × (株)マクニカ先端技術勉強会
- 目的 的：学識と民間が連携し、世界視点での最新技術の動向を学ぶとともに、最新技術の活用方法等を検討することで、スマートシティの推進を図る
- 実施日：令和6年8月7日(水)
- 参加者：呉工業高等専門学校 3学年 120人
呉市職員 40人

内容

- (1) 先端技術をみんなのものに。
- (2) The current and future vision of Autonomous driving shuttle
・自動運転EVバスの技術紹介
- (3) 呉工業高等専門学校生とマクニカのディスカッション



写真



勉強会の様子

No.16 ユース世代の居場所実証実験 (R6)

概要

- 取組：高校生モニターを対象にUDC準備室を「ユース世代の居場所」として実験的に開放
- 目的：そごう呉店跡地に新しく整備する複合建物内には、公益機能として「ユース世代の居場所」を整備するため、その有効な運用について検証
- 実施期間：夏休み期間中の毎週木曜日 9時30分～20時 (7/25, 8/1・8・15・22・29)
- モニター：30人

実験結果

- 16時以降の利用が多く、最終日(8/22)には最大利用人数となった。
- 今後も継続的に利用人数が多い時間帯を開放することで、ロコミによる利用者の増加が期待でき、各種実験の可能性も高まる。

【時間帯別利用者数】

時間帯	7/25	8/1	8/8	8/15	8/22	8/29	合計
9:30～10:00				1	2		3
10:00～11:00				2	2		4
11:00～12:00				3	3		6
12:00～13:00		1		3	2		6
13:00～14:00	3	3	1	4	3		14
14:00～15:00	3	3		3	3		12
15:00～16:00	3	4	2	1	2		12
16:00～17:00	4	6	4	1	3	1	19
17:00～18:00	4	4	5	1	3	1	18
18:00～19:00	4	4	5	1	3	1	18
19:00～20:00	1	4	3	1	3		12
利用人数	4	6	6	6	7	1	30

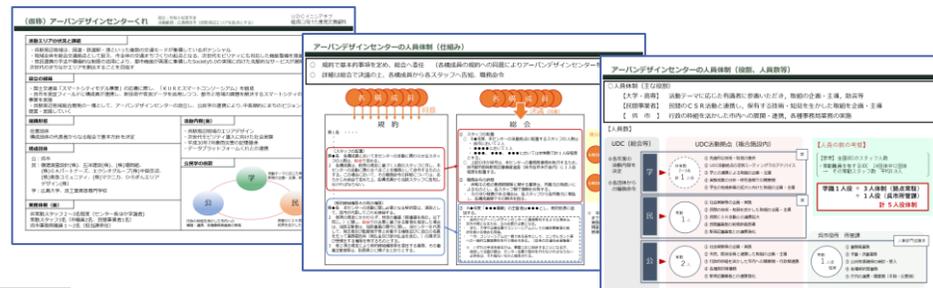
No.17 KUREスマートシティコンソーシアム運営会議 (R6)

概要

- 取組：KUREスマートシティコンソーシアム運営会議運営会議は組成当初から開催。R6年度からは、アーバンデザインセンター準備室で、フリー座席・Web併用方式で開催。
- 参加者：広島大学、呉工業高等専門学校、呉市、復建調査設計(株)、五洋建設(株)、(株)マクニカ、ひろぎんエリアデザイン(株)、エクシオグループ(株)中国支店、広島国際大学

主な議題

- (1) アーバンデザインセンターの組成に向けて
- (2) 交通社会実験
- (3) アーバンデザインセンター準備室での実証内容検討
- (4) 呉駅周辺地域総合開発の進捗状況



写真



第1回運営会議



第2回運営会議

No.18 データプラットフォームくれ くれみらい意見交換会 (R6)

概要

- 取組：データプラットフォームくれと呉駅周辺地域総合開発（第1期）実施事業者「くれみらい」との意見交換会
- 目的：データプラットフォームくれに掲載するデータのニーズやアーバンデザインセンター準備室で取得できるデータの活用・連携について検討する
- 実施日：令和6年10月18日（金）
- 参加者：エクスポリス(同)、呉市、五洋建設(株)、(株)マクニカ、エクシオグループ(株)中国支店、ひろぎんエリアデザイン(株)

内容

- (1) データプラットフォームくれの概要
- (2) 呉駅周辺地域総合開発の概要及び実証実験
- (3) 複合建物におけるAIカメラの活用イメージ
- (4) 搭載データへのニーズ及び提供可能なデータ



写真



意見交換会の様子

No.19 呉三津田高等学校 社会探究プロジェクト学習 (R6)

概要

- 取組：呉三津田高等学校 社会探究プロジェクト学習（呉駅周辺地域の課題や総合開発の概要と進捗状況）
- 目的：社会課題の解決するプロセスを通して、様々な物の見方・考え方を柔軟に駆使していく力を身に着ける
- 実施日：令和6年8月20日（火）
- 参加者：呉三津田高等学校 2年生 6名

内容

- (1) 呉駅周辺地域の課題とポテンシャル
- (2) 呉駅周辺地域総合開発基本計画の概要
- (3) そごう呉店跡地の後継建物の整備概要
- (4) スマートシティ発信拠点の形成に向けた取組
- (5) アーバンデザインセンターの組成



写真



探求学習の様子

No.20 2階デッキでの賑わい創出に向けた 対話型ニーズ調査 (R6)

概要

- 取組：呉駅交通ターミナル2階デッキでの賑わい創出に向けた対話型ニーズ調査
- 目的：2階デッキでの賑わいの創出及び持続的収入確保を実現するため、プレイヤー（実際に出店等する事業者）となるであろう民間事業者のノウハウやアイデアを伺うニーズ調査を実施し、官民連携により賑わいを創出するための手法を検討する
- 実施日：令和6年9月以降随時
- 参加者：駅よこO番地商店街組合、キッチンカー事業者（5社）ほか参加事業者

内容

第4回ニーズ調査

- (1) 呉駅周辺地域総合開発（2階デッキ）の整備概要
- (2) 交通ターミナル2階デッキの賑わいの創出に向けアンケート
 - ・イス・テーブルについて
 - ・受動喫煙対策・暑さ対策・植樹について
 - ・物販・飲食ブースとインフラ整備について
- (3) 出店希望（曜日別・時間帯別）調査（キッチンカー事業者対象）
- (4) フリートーク（今後の調査・検討に向けて）

写真



整備概要の説明



2階デッキへの動線確認

No.21 次世代モビリティ導入に向けた 交通社会実験 (R6)



概要

- 取組：自動運転シャトルバスの走行実験（車両：NAVYA EVO）
- 目的：自動運転車・歩行者が混在する賑わい空間の実現に向けて、更なる検証
- 実施日：令和6年11月4日(月)～10日(日)（7日間）
- 乗車人数：250人（7日間合計）
- 運行時間：11時～16時
- 便数：7便/日
- 運賃：無料

ルート



写真



れんがどおり走行中



どんぐり公園前停留所の様子

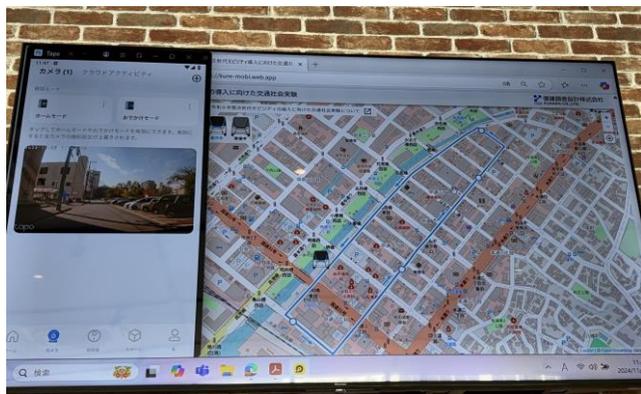
No.22 自動運転モニタリングルーム (R6)

概要

- 取組：自動運転のモニタリング
- 目的：次世代モビリティ導入に向けた機運醸成を図るため、UDC準備室に模擬的にモニタリングルームを設置
- 実施日：令和6年11月4日（月）～11月10日（日）
午前11時から午後4時まで

内容

自動運転車両の現在の状況が分かるように、位置情報と車両に取り付けたカメラの様子をサイネージに表示。



写真



モニタリングルームの設置状況



自動運転車両の様子を見る市民

No.23 カクレクレシ デジタルスタンプラリー (R6)



概要

- 取組：マイクレアプリ機能を利用したデジタルスタンプラリー
- 目的：交通社会実験やまちなかウォークアブル社会実験に合わせ、呉駅かられんがどおりの回遊性の向上を目指すとともにビジネスモデルの構築について検討する。
- 実施日：令和6年11月4日（月）～11月10日（日）
- 参加者：282人
- 達成者：216人（1個：233人、2個：223人、3個：220人）

内容

- ①まちなかに隠れたカクレクレシを探し、スタンプを取得
- ②スタンプラリーを達成し、クーポンを取得
- ③まちなかウォークアブルの社会実験で出店している店舗でクーポンを利用



写真



No.24 広島国際大学フィールドワーク (R6)

呉駅周辺を歩く～まちの特徴や魅力の源を探そう～

概要

- 取組：地域発見演習（まちの歩き方）
- 目的：地域の地形・地理、自然環境、歴史・文化、産業、暮らしなど地域を把握・理解するための必要な視点とそれらを見出すための方法・手法を学習する。
- 実施日：令和6年11月14日（木）13:30～16:00
・10月31日（木）まち歩き計画、準備
・11月21日（木）ディスカッションと報告会
- 参加者：広島国際大学社会学科地域創生学専攻1年生

内容

呉市中心街の特徴や魅力を明らかにし、それらを生み出す源泉を探る

- ・まち歩きの計画づくり
地図やインターネットを使い、呉市中心市街地について調べ、「何を見るか」を考える
- ・実際に呉駅周辺を歩く
スマホや360度カメラを使って、まちの様子を記録
地域の方にインタビューを実施
- ・まち歩きの結果を発表



写真



No.25 人とロボットが創造する未来 (R6)



概要

- 取組：リモート自律移動説明案内ロボットを活用した実証実験
- 目的：ロボットに対する受容性・親和性の向上を図るとともに、呉駅交通ターミナルその他の公共空間での将来的な活用可能性を検証する。
- 実施日：令和6年11月25日（月）～令和7年1月31日（金）
毎週月曜日から金曜日 11:00～16:00
- その他：期間中は、市役所1階及び6階にも設置し、庁舎案内や呉駅周辺地域総合開発の説明を行う

内容

【temiの主な機能】

- ・自動追従機能（顔を認識に、後ろをついていきます）
- ・自動説明機能（プログラミングした内容を説明します）
→呉駅開発の模型の説明、クイズの出題
- ・案内機能（プログラミングした場所まで案内します）
→庁舎（市役所）案内
- ・テレビ電話機能（画面を通し、オペレータと会話ができます）
→準備室と市役所間での双方向の対応



写真



No.28 キッチンカーと公共空間を 活用した実証実験 (R6)



概要

- 取組：呉駅交通ターミナル2階デッキの賑わい創出に向けたニーズ調査
- 目的：熱さ・寒さに大きな影響を受けるキッチンカーの出店に際し、空調を備えた公共空間が隣接することで、出店しやすい環境を構築できる可能性について検証する。
- 実施日：令和7年1月23日（木）～3月21日（金）
- 参加者：賑わい創出に向けた対話型ニーズ調査に参加していただいているキッチンカー事業者（6事業者）

内容

- ・アーバンデザインセンター準備室前の敷地にキッチンカーを出店
- ・準備室を飲食スペースとして開放
- ・事業者や利用者へのモニタリングを実施

※ ニーズ調査協力事業者（キッチンカー）
25事業者
うち出店希望事業者 20事業者
(令和7年1月17日現在)



写真



No.29

概要

- 取組：
- 目的：
- 実施日：
- その他：

内容

写真



6 今後の予定（案）

（仮称）キッチンカーと公共空間

キッチンカーが出店しやすい環境とは？
呉駅交通ターミナル2階デッキを始めとする公共空間
での効果的なキッチンカーの誘導策を検証

概要

- 取組：アーバンデザインセンター準備室前でのキッチンカーの出店及び準備室内での飲食開放、モニタリング等
- 目的：熱さ・寒さに大きな影響を受けるキッチンカーの出店に際し空調を完備した公共空間が隣接することで、出店しやすい環境を構築できる可能性について検証する。
- 実施時期：令和6年度後半～令和7年度前半 ごろ

実験イメージ



外観（キッチンカー設置）



内観（飲食スペース）

（仮称）ボタニカル・アーケード

呉駅交通ターミナルの広大なデッキ空間に憩いと潤いを。
公民学連携による「緑ある空間の形成」
を目指す実証実験

概要

- 取組：UDC準備室内での植栽の無店舗型リモート展示販売
- 目的：呉駅交通ターミナル2階デッキの憩いの形成に向けて、公共空間における植栽の無店舗型リモート展示販売の実現可能性について検証する。
- 実施時期：令和6年度後半～令和7年度前半 ごろ

実験イメージ



STREET PLANTS 2021



STREET PLANTS 2022

ストリートプランツ（アーバンデザインセンター大宮）

7 ご寄付をいただいた皆様（企業版ふるさと納税）

令和6年1月寄附

寄附金額：1,000万円

MACNICA 株式会社マクニカ

【本社所在地】 横浜市港北区新横浜一丁目6番地3
【代表者】 代表取締役社長 原 一将

当社は、呉駅周辺地域総合開発の実施事業者である「くれみらい」の構成企業であるとともに、呉市と「次世代を担う若者のチャレンジ支援等に向けた包括連携協定」を締結している連携企業であり、呉市が推進する呉駅周辺地域総合開発を通じた地域貢献を行います。

呉駅周辺地域総合開発では、第1期開発の完了後も、周辺の連鎖的開発を誘導し、中長期的にまちのビジョンを育て、更新し、実装していくため、『公・民・学連携』による地域課題の解決に向けた新たなチャレンジに取り組んでいます。

この取組に、ご支援をいただきました企業の皆様をご紹介します。



令和6年3月寄附

寄附金額：220万円



三洋商事株式会社

【本社所在地】 東京都江戸川区東葛西3丁目17番41号
【代表者】 代表取締役 河原林 令典

呉駅周辺地域総合開発

公・民・学
連 携

応援プロジェクト

当社は、通信機器・交換機・コンピューター類のリサイクルサービスの提供及び産業廃棄物の収集運搬、処理業務を行っている企業です。

この度、広島県の拠点として呉市にリサイクルセンターを開設し、今後、圏域内での事業を展開していくに当たり、地元である呉市に貢献いたします。

令和5年8月寄附

寄附金額：20万円

トンボ株式会社



【本社所在地】 山口県岩国市山手町1丁目6番9号
【代表者】 代表取締役 中村 雅幸

当社は、昭和46年（1971年）の設立以来、人と環境の調和をテーマに、熱絶縁工事の施工、各種工業製品、建材の販売を行っております。創業地である呉市の発展に繋がる取組に共感いたしました。

令和5年12月寄附

寄附金額：10万円



株式会社岩瀬屋製作所

【本社所在地】 茨城県常陸太田市宮本町394番地
【代表者】 代表取締役 小又 元之

当社は、自動車用発電機の完成品組立までの一貫生産を中心に事業展開を続ける一方、培ってきた技術を活かし電気自動車用インバータ部品加工等への業務を拡大しております。ペンダ工業(株)のグループ企業として、呉市に貢献いたします。

令和6年2月寄附

寄附金額：50万円



株式会社宮商

【本社所在地】 東京都世田谷区野毛三丁目18番2-101号
【代表者】 代表取締役 宮下 悠子

株式会社宮商は、セメント原料の国産・輸入商材を取扱う商社部門と、半導体原料の破砕加工を行う受託加工部門の2つの軸を持つ、商社と製造業のハイブリッド企業です。（旧）日新製鋼株式会社呉製鉄所と長くお取引関係にあり、長年通い続けた呉市は、とても思い出深い町です。そんな呉市の課題解決と新しい価値の創出、そして地域の活性化に少しでも協力したいと考え、今回の寄付に至りました。

7 ご寄付をいただいた皆様（企業版ふるさと納税）

令和6年7月寄附

寄附金額：1,000万円



原田工業株式会社

【本社所在地】 兵庫県姫路市飾磨区上野田3丁目25番
【代表者】 代表取締役社長 原田 信弘

当社は、タービン・回転機器のエキスパートとして、発電プラント・化学プラントや環境設備機器などの据付工事及びメンテナンス工事を行っている企業です。

ゆかりある呉市の発展に繋がる本総合開発の取組に共感し、呉市に貢献いたします。



令和7年3月寄附

寄附金額：500万円



【本社所在地】 広島県東広島市安芸津町小松原576番地
【代表者】 代表取締役社長 小谷 克宏

当社は、大正8年に呉市仁方町にてヤスリの製造販売を創業し、伝承してきた技と精神を受け継ぎ、現在ではダイヤモンド工具メーカーとして業界で信頼をいただいております。「100%信頼される道具を提供し、お客様の創造力をサポートすること」を理念に、最高級のパーソナル・サポート・サービスを提供しています。創業地である呉市の発展に繋がる取組に共感し、今回の寄附に至りました。

令和7年1月寄附

寄附金額：100万円



【本社所在地】 東京都千代田区丸の内3丁目4番1号
【代表者】 代表取締役 桑田 始

当社は、昭和36年、通商産業省（現・経済産業省）の指導のもと日本のコンピュータ産業の育成発展を目的に設立し、ITファイナンス会社として、パソコンなどの幅広いハードウェアのレンタル・リースを主業に、ソフトウェア賃貸や業界に先駆けたサービスの提供など、激変するIT市場に柔軟に対応した事業を展開してきました。呉市の課題解決と新しい価値の創出に向けた取組に共感し、貢献いたします。



呉駅周辺地域総合開発

公・民・学
連 携

応援プロジェクト

7 ご寄付をいただいた皆様（企業版ふるさと納税）

令和7年9月寄附

寄附金額：1,000万円



フタムラ化学株式会社

【本社所在地】 愛知県名古屋市中村区名駅二丁目29番16号

【代表者】 代表取締役 長江 泰雄

当社は、プラスチックフィルム、セロハン、活性炭など、日々の暮らしの中で幅広く使われている製品の製造・販売を行っている企業です。

呉市内にある広島工場は、昭和61年から約40年にわたり活性炭工場として操業しており、今後の呉市の発展につながる本取組に共感し、今回の寄附に至りました。



呉駅周辺地域総合開発

公・民・学
連 携

応援プロジェクト

